

授業科目名	疾病負荷の測定：方法と応用
科目番号	01ER433
単位数	2 単位
標準履修年次	1 年次
時間割	春 AB 応談
担当教員	Hsien-Ho Lin, Shu-Sen Chang
授業概要	集団の健康を測定することは、保健政策や優先政策の策定に有用である。過去数年で疾病負荷の研究（特に <b>Global Burden of Disease Study (GBD)</b> ）に進捗が見られた。本科目では、国や国際レベルでの疾病負荷を定量化する手法とコンセプトを概観する。本科目では、その他のアプローチについても概観する。本コースは、講義、コンピューターラボ、グループプロジェクト、台湾厚生省の統計部への訪問で構成される。
備考	国立台湾大学にて英語にて実施
授業形態	講義
教育目標との関連	疾病負荷研究の学修を通じて、健康安全保障について学ぶことができる。
授業の達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>— 疾病負荷研究の要素とキーコンセプトについて理解できる</li> <li>— 疾病負荷研究の強みと限界について説明できる</li> <li>— GBD 研究での予測手続きについて理解できる</li> <li>— GBD の主要データベースを利用することができる</li> </ul>
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 疾病、傷害、リスク要素の負荷の測定：何を、なぜ、どのように</li> <li>2. グローバルヘルスのコスト効果分析：YLL とライフテーブル</li> <li>3. YLD: 発生率および有病率に基づく障害程度によるウェイト付け</li> <li>4. 死亡原因とガベージコード</li> <li>5. 医療費から疾病負荷を見積もる</li> <li>6. ライフテーブルとガベージコードの再配布</li> <li>7. リスク要素の負荷測定：比較リスク評価 I</li> <li>8. リスク要素の負荷測定：比較リスク評価 I I</li> <li>9. 中間プログレスレポート準備について</li> <li>10. 障害と精神病の負荷測定</li> <li>11. ベンチマークと見通し</li> <li>12. 台湾における疾病負荷研究</li> <li>13. 台湾における感染症監視と健康オープンデータ、CDC への訪問</li> <li>14. GBD 結果の応用</li> <li>15. QALE 損失を用いた疾病負荷の定量</li> <li>16. 実証的保健政策策定：保健システムパフォーマンスの評価</li> <li>17. 期末プロジェクト発表</li> </ol>
履修条件	
成績評価方法（割合・評価基準・提出期限等）	授業参加度（質疑応答など）（50%）、最終レポート（50%）
授業外における学習方法	授業中に紹介された資料を読むこと
教材・参考文献・配付資料等	教室にて紹介

Measuring burden of disease: methods and applications

疾病負荷の測定：方法と応用

(国立台湾大学)

オフィスアワー	Hsien-Ho Lin 事前にアポイントメントを取ること。
その他（学生に望むこと等）	
関連科目	Principle and Application in Health Research Methods, Environmental and Occupational Health,
キーワード	